

寺社Now

www.jisya-now.com

寺社の“いま”を伝える情報誌

vol.20

巻頭インタビュー

盛岡八幡宮 宮司
岩手県神社庁 庁長

藤原 隆磨

特集 1

寺社と人をつなぐ
カフェという選択

臨済宗建長寺派大本山 巨福山建長寺「和カフェ 点心庵」(神奈川県)

高野山真言宗遺跡本山 檜尾山観心寺「創作精進料理 KU-RI」(大阪府)

熱海 來宮神社「茶寮 報鼓」(静岡県)

伊太祁曽神社「お休み処 木もれび」(和歌山県)



02 巻頭インタビュー
祭りとは、地域の人々が「共に生きている」ことを確認するための装置。

盛岡八幡宮 宮司
岩手県神社庁 庁長

藤原隆磨

特集

寺社と人をつなぐ、カフェという選択

08 料理や空間の仕掛けで寺社の入口に

10 臨濟宗建長寺派大本山 巨福山建長寺「和カフェ 点心庵」
「食材を活かしきる」
けんちん汁で伝えたかった心

14 高野山真言宗遺跡本山 檜尾山観心寺「創作精進料理 KU-RI」
伝統と文化を次世代に継承していく方法

16 熱海 來宮神社「茶寮 報鼓」
起死回生の一手が地域振興にも繋がった

18 伊太祁曽神社「お休み処 木もれび」
神社と参拝者が縁を結び合える場所に

伝統を未来へ～From the Past to the Future～

20 地域の寺の将来を変えるべく活動する、稲田瑞規さん

21 「絵馬」を次世代へ伝える、絵馬師・永崎まひるさん

うちのお宝

22 浄土宗 大寶山來迎院(熊本県)／聖観世音菩薩像

23 松帆神社(兵庫県)／名刀 菊一文字

24 新風

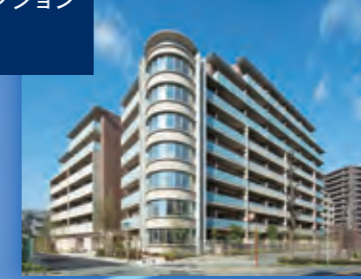
仏像を盗難から守る！3Dプリンターが大活躍／お守り2.0／サイクリングで御朱印巡り「兵いち」

26 テラハクレポート「高野山真言宗矢田寺 準別格本山北僧坊」

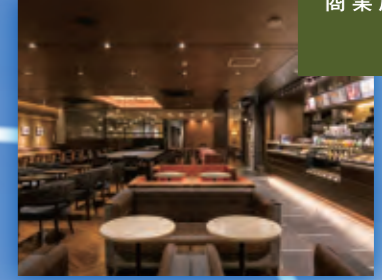
28 [特別寄稿]野田博明「風まかせ」
第20回「ガリバーも驚く吉野山の力」

30 全日本社寺観光連盟「社寺観光研究会が6月から本格スタート」

マンション



商業施設



賃貸住宅
「シャームゼン」



オフィス



積水ハウスの 土地活用

高齢者向け
住宅



クリニック



土地を活かす。地域が活きる。

土地活用とは、土地の価値を地域に活かすこと。積水ハウスは、住宅のリーディングカンパニーとして培ってきた総合力で土地の可能性を引き出してきました。入居者の多様なニーズに対応する賃貸住宅「シャームゼン」や高級感あふれる中高層マンション、時代が求める高齢者向け住宅など、地域貢献につながる土地活用を積水ハウスがご提案します。



積水ハウス株式会社 大阪特建支店

〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-93 梅田スカイビルガーデンシックス4F



土地活用に関するご質問やご相談についてもお気軽にどうぞ。

0120-131-470

大阪特建支店

検索

資料をご希望の方は、フリーダイヤルでご請求ください。
ホームページからお申し込みいただけます。



積水ハウスの賃貸住宅
「シャームゼン」総合カタログ



積水ハウス大阪特建支店 実例集
「Best Solutions」

盛岡八幡宮 宮司
岩手県神社庁 庁長

藤原 隆磨

ふじわら
たかまる

藤原 隆磨
第11代盛岡八幡宮宮司、
岩手県神社庁庁長。
昭和29(1954)年岩手県生
まれ。皇學館短期大学を経
て1980年より神社本庁録
事、秘書部長などを歴任。
1997年より宮司に。岩手護
國神社宮司も兼任。

盛岡八幡宮は、「盛岡総鎮守」として地域の崇敬を集めてきました。その歴史についてお聞かせください。

盛岡藩主・南部家は山梨の甲斐源氏の出で、源平合戦などで戦功を上げ、陸奥国糠部五郡を拝領しました。その後、南部家は秀吉の命により、青森の三戸から岩手の盛岡に居城を移します。こうして盛岡城が築かれ、盛岡のまちづくりが始まったのです。もともと、南部家では、源氏の守り神である八幡神を氏神として祀っていました。盛岡城築城の際、この地にあった鳩森八幡社を城内に祀ったのですが、領民が参拝できなくなったため、新たに八幡宮を建ててご分霊をお祀りすることとなりました。それが、現在の盛岡八幡宮です。幕末の戊辰戦争で盛岡城は落城し

ましたが、それに先立ち、城内のご神体はこちらに遷座されました。このため、当社にはご本体とご分霊と、二座のご神体が鎮座しています。

9月の例大祭は「南部藩随一の
大祭」と謳われ、今も県内屈指の観
光イベントとして賑わっています。

毎年9月14日〜16日の例大祭では、神輿渡御、例大祭の祭儀、流鏝馬が行われます。境内に全長300mほどの広々とした空間がありますが、あれは実は、流鏝馬の馬場なんです。五穀豊穣と国家安寧の祈りを込めて、流鏝馬をご奉仕するのがこの祭りのクライマックスです。

例大祭の山車行列では、毎年10基ほどの山車が出ます。この山車も昔はもっと大きく壮麗なものだったのですが、今は電線に引っかかるので、

祭りとは、 地域の人々が

「共に生きていく」ことを 確認するための装置。



盛岡八幡宮の境内に立つ、朱塗りの大鳥居

■源氏の氏神を祀る鳩森八幡社の別宮として、盛岡藩南部家代々の崇敬を受けた盛岡八幡宮。明治以降も盛岡総鎮守として、地域の人々の信仰を集めてきた。その宮司を務めるのが、平成25年に岩手県神社庁庁長に就任された、藤原隆磨氏である。

藤原宮司は、東日本大震災の発生から4日後に被災地入りし、支援活動の陣頭指揮をとった。

震災当時、藤原宮司は何を考えた、どう動いたのか。そして、被災地復興と過疎化が進むふるさとの再生において、神社はどのような役割を果たすことができるのか。

ご自身の経験と知見、寺社観光への思いを語っていただいた。

インタビュー・構成／吉田耀子



北側の鳥居から奥へ、流鏝馬の馬場が境内の南北
いっばいに延びる

故郷を出て、 再び戻ったのは、 このためかも しれない

ます。昔の伝統を今の時代に上手に
伝えていただいているのは、ありが
たいことです。

神社本庁にかけ合い 被災地支援を始動

中央の流れを汲んだ壮麗な祭
礼と、生活に密着した民俗行事が一
体となって伝承されている。それが、
盛岡八幡宮の魅力ということですね。
ところで、藤原先生は東日本大震
災の際、岩手県神社庁の理事として、
被災地支援で中心的な役割を果たさ
れたと伺っています。その時のお話
をお聞かせください。

震災発生時、私は当社の責任役員
の葬儀に参列していました。すぐに

ほとんど小さくなってしまいました。
裸参りやチャグチャグ馬コなど、
民俗行事の舞台としても有名ですね。
裸参りは教浄寺の願掛け行事とし
て始まり、当社では毎年1月15日に
行われます。約150人の若い人た
ちが素裸に荒縄を巻き、注連縄を背
負って練り歩く、厳かな祭りです。

チャグチャグ馬コは旧暦5月5日
に行われていた農耕儀礼で、農耕馬
を連れて岩手山麓の鬼越蒼前神社に
お参りし、馬の無病息災を祈願した
のが発祥です。この行事が観光化さ
れ、毎年100頭ほどの馬が当社ま
で牽かれて来るようになりました。

裸参りもチャグチャグ馬コも、今
では盛岡の季節の風物詩になってい

帰宅し、車載テレビでニュースを見
ていると、三陸沿岸の津波の映像が
続々と流れ始めたのです。

大変なことが起こっている、と思
いました。当社でも避難者を受け入
れ、一日も早く被災地に入り、現地
の状況を確認しなければ……。道路
は封鎖されていました、神社新報
社の取材に同行し、震災4日後に被
災地に入りました。

ようやく辿り着いた宮古の町は、
とてつもなく悲惨な状況で、この世
の光景とは思えませんでした。とに
かく生存者の命をつなぐことが第一
ですから、考えるより行動するしか
ない。被災地を回って現地の情報を
集め、東京の神社本庁にかけ合っ
て、支援物資を送ってもらうことにし
たのです。

藤原先生を突き動かした思いと
は、何だったのでしょうか。

当時は、「人の命をつなぐなければ」
という思いでいっぱいでしたし、「出
番が来たな」という感覚もありまし
た。「自分が故郷を出て、40を過ぎて
帰ってきたのは、このためかもしれない
」と思ったのです。大阪に4、5年、
東京に20年いて、大勢の仲間や先輩
後輩と人間関係を築いてきた。

「今まで培ってきた人間関係を、い
ま使わなかったら、いつ使わないだ
い」そう思ったのは、震災発生から数日
後のことでした。

全国の仲間を声をかけ、「今回だ
けはわがままを言わせてもらう。とに
かく助けてくれ」と泣きつきました。
「今、支援物資を送らなかつたら一生
後悔するぞ」と脅してね(笑)。

こうして全国から続々と寄せられ
た支援物資は、責任を持って被災者
に届けなければならぬ。それで、
今度は地元の仲間を頭を下げて、「ト
ラックを持って境内に集まってくれ
」と呼びかけました。なにしろ当社に
は広い境内地がありますから、ここ
を防災拠点として支援物資を集積
し、トラックに積めるだけ積んで被
災地に行ってもらったことにしたの
です。こうして、盛岡と被災地とのピ
ストン輸送が始まりました。「行政が
本格的に動き出したら、俺たちの出
番はないよ」と言いながら。

被災地で思い知った 「心の復興」の大切さ

被災地での支援活動を通じて、
何か心境の変化のようなものはあり
ましたか。



6月第2土曜日に行われる民俗行事「チャグチャグ馬コ」。華やかに着飾った約100頭の農耕馬が、
鈴の音を響かせつつ、滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡八幡宮までの約13kmを行進する

例大祭の最終日に行われる
流鏝馬。「武家の祭」の伝統
を今に伝えるこの神事で、祭
りの興奮は最高潮に達する

神社は、皆が喜びと悲しみを共有できる場であり続けてきた



境内には、厄を封じ込めた夥しい数のひょうたんが掛けられている



修学旅行生の記念撮影を買って出る藤原宮司。日頃から参拝者との交流を心がけている

が進むことは目に見えています。先祖からの伝統を受け継ぐということは、それほど大切なことなのです。

神社は地域を一つにまとめ 共同体が絆を結び直す場

被災地での支援活動を通じて、何か心境の変化のようなものはありましたか。

お祭りとは、地域の人々が仲間意識を育み、共に生きていることを確認するための装置の一つです。地域が一体となって伝統芸能を守り伝え、神輿を担ぎ、山車を曳き回す。こうした共同作業こそが、「その地域で共に生きている」ということを、人々に実感させるのです。

震災後、大槌町の祭りに参加した

震災後しばらくは、毎日のように被災地入りしていたのですが、自分の気持ちが荒れていくのがわかりました。イライラして暴力的になり、つい喧嘩腰になってしまうんですね。今まで理性で抑えていたバイオレンスの衝動が、抑えきれなくなってきたのです。荒れ果てた場所に身を置き続けていると、心も荒んでいくのだと思います。

震災当時、内陸にいた自分ですらそうなのだとしたら、実際に津波を経験した人たちは一体どうなるのか。ライフラインの復旧後に自分たちがやるべきことは、「荒んだ心を元に戻す」ためのお手伝いをするのだ、と思いました。その後、岩手県神社庁の被災地支援は、コンサート開催やスポーツ用品の寄贈など、「心を豊かにするための活動」へとシフトしていくことになりました。その原点には自分自身の経験があったのです。

岩手県では神社の多くが高台にあり、震災による被害は比較的少なかったそうですね。

岩手県の三陸沿岸は津波常襲地域なので、過去の津波で、ほとんどの神社が高台に移転したんですね。民家も、津波が来ると一度は高台に上

ことがあります。この地域は津波で壊滅的な被害を受けたのですが、家一軒残っていないにもかかわらず、地域の人たちが祭りのために戻って来たんですね。若い人たちが神輿を担ぎ、行列が瓦礫の山の間を練り歩くのを見て、思わず涙が出ました。「ああこの人たちは、ここが自分たちの故郷だと感じている。いつかきっとここに帰って来る」と思ったのです。

古来、神社は信仰によって地域をまとめ、皆が喜びと悲しみを共有できる場であり続けてきた。一つの信仰を地域が共有できる場を、日本においては神社が担ってきたわけですね。その意味で、神社はコミュニティの核のひとつとしての役割を果たすことができると信じています。

がるのですが、記憶が薄れた頃に下に戻り、また津波に遭うということを繰り返してきた。ただ、お寺や神社は、一度高台に移転したら動きませんから、岩手県で津波の被害に遭ったのは4、5社、完全に流されたのは2社だったと思います。

ところが「氏子さんが被害に遭い、神社だけが残った」というのは、地域の将来を考えると非常に問題が多い。地域全体が集団移転するのに、神社だけが取り残されてしまう。公民館やコミュニティ広場さえ作れば、それで地域が再生できると思ったら大間違いです。神社やお寺、祠や路傍のお地藏さんなど、地域に根差した信仰も一緒に移転しなければ、ふるさとの再生は難しいといっても過言ではありません。

例えば、盛岡市内でも、新興住宅地で住民の子育てが終わると、一気にゴーストタウン化が進みます。なぜかという、子供たちが地域に帰って来ないんですね。村祭りや伝統芸能など、故郷への郷愁をかき立てるものが何もないければ、都会に出た子供たちは絶対に帰ってこない。それと同じで、集団移転先で無機質的な町を作ってしまうと、やがて過疎化

最後に、「寺社観光」の可能性について、お考えをお聞かせください。

神社を訪れる方々は、信仰だけが目的で来るわけではありません。心の安らぎを求め、「非日常」を求めて来るわけです。そうした期待に応えるためにも、30年でも50年でもかけて、俗世界とは違う、独特の「気」が流れる空間を創っていく必要がある。境内を鬱蒼とした木で覆ったり、建築物のデザインを工夫したりしながら、長い時間をかけて取り組んでいかなければなりません。

自分が宮司として仕事できるのも、あと5年か10年でしょう。だからこそ、次の世代にしっかりとバトンを渡したい。それが私自身に課せられた使命だと思っております。



盛岡八幡宮
〒020-0872
岩手県盛岡市八幡町13-1
TEL: 019-652-5211
<http://morioka8man.jp/>



特集

寺社と 人とをつなぐ カフェという 選択

寺社の境内にカフェを設けたことがきっかけで参拝者が集まり、また、地域が賑わいを取り戻し始めている事例が目立っている。寺社の皆さんはなぜカフェという形態を選んだのか、それをどのように立ち上げ、いかに運営しているのか。「寺社を知ってほしい」。その思いが動かした事例を紹介する。

■ 紹介事例に見る、カフェを始めた理由と実現のために選んだ運営スタイル

寺社名	始めた理由	運営スタイル
事例① 臨済宗建長寺派大本山 巨福山建長寺 (神奈川県) 「和カフェ 点心庵」	「食材を使い切る」という禅の教えを「けんちん汁」を通して伝え、坐禅など、禅の世界観を広めて行きたい	寺自身で運営を試みたが無理だと判断し、飲食系企業と業務提携
事例② 高野山真言宗遺跡本山 檜尾山観心寺 (大阪府) 「創作精進料理 KU-RI」	寺の価値を「時代に合った形で新たに創り出したい」と考え、コンセプトメイクからスタート。打ち出し方の一つとしてカフェを選んだ	トータルブランディングができるプロジェクトチームに依頼
事例③ 熱海 來宮神社 (静岡県) 「茶寮 報鼓」	「パワースポットブーム」に際し、新たな参拝者層を開拓するために境内をリニューアル。その過程にカフェの開設があった	事業部を自社に設置し職員を配置、自社運営。周辺商店と菓子の開発
事例④ 伊太祁曽神社 (和歌山県) 「お休み処 木もれび」	参拝客が腰を下ろす場所やお茶を飲める場所が神社内になかったため、既存建物を利用して休憩所を設置することを検討	一度外部へ委託し、その後自社運営で週末のみ営業

料理や空間の仕掛けで
寺社世界の入り口に

禅語から生まれた「喫茶去きっさきょ」という「おもてなし」の心が寺院には昔からあった。神社でも祭りなどの行事の際に茶の接待があった。それほど寺社は人が集う場所と同時に、おもてなしの場でもあったわけだが、近年、「カフェを併設する」という新たな動きが活発化している。常設茶席や、伝統的な精進料理を楽しめる場所も以前からあったのだが、「カフェ」は、それらとは少々異なるようだ。

根底には「参拝者をもてなす」という、昔から変わらぬ思いがある。その手段を、若い世代にも受け入れられるカフェにしたことで、「寺社にあるオシャレなカフェに行こう」という動機が生まれ、新たな層を呼びかけにもなっている。

もちろん、カフェなら何でもいいわけではない。人気の店はどこも、メニューや空間演出に寺社の伝統を感じる「仕掛け」を盛り込んでいるのだ。中にはカフェをきっかけに地域全体が元気になっている事例もあり、寺社に人を呼ぶだけではない効果をもたらしている。

臨済宗建長寺派
大本山

巨福山建長寺

和カフェ 点心庵

わかふえてんしんあん



夕方時には鎌倉らしい夕日が窓から差し込む店内。靴を脱いで上がる。開店2か月目のゴールデンウィークには、屋営業だけで1日9回転、300人もが訪れた

「食材を活かしきる」 けんちん汁で伝えたかった心



「禅には『食材を活かしきる』という教えがあり、野菜の皮やヘタ、尻尾の部分まですべて使ってつくられたのが、建長寺発祥と言われるけんちん汁。写真は塩むすびと自家製のぬか漬けがセットになった伝承 建長汁（けんちん汁・¥800）」



高橋料理長（左）にとって、村田総務部長（右）はなんでも相談できる心強い味方。取材中も新たな構想を相談していた



寺域内に養蜂場を設け、そこで収穫されたはちみつも点心庵で提供されている

地元の飲食企業と協働して 参拝者が休める場所を

今年3月1日、北鎌倉にある臨済宗建長寺派の大本山・建長寺の門前に「和カフェ 点心庵」がオープンした。建長寺の禅の心を感じてほしいとの願いから、店の奥には坐禅堂も併設されている。

実はこの場所には、もともと和食などを提供する別の飲食店があった。2017年に同店が閉店し、建長寺がその建物ごと土地を買い取るようになったという。

「建長寺では年に2回、修行僧たちが檀家さんを招いて精進料理を振る舞う機会があるのですが、参拝いただいた皆様に、日常的にお食事をしていただけ場所はありませんでした。そこで管長が、寺として飲食店の運営を考えました」。そう話すのは、カフェ事業を担当する建長寺の村田靖哲総務部長。当初は吉田正道管長の意向を受けた村田氏を中心に、自分たちの手で運営することを

禅の町・鎌倉で気軽に
禅に触れられる場を



カフェスペースの奥にある坐禅堂は、四季を感じる庭園につながっている。いずれは一般客に禅の心を説く坐禅会を開くことが目標だ

試みたという。しかし、日々のお勤めの傍らカフェの営業まで手がけることは容易ではなく、結局、運営をプロに任せることとなる。白羽の矢が立ったのは、神奈川県内に中華やイタリアンなど10店舗を構える地元飲食企業・株式会社千里。同社のイタリアン事業部で総料理長として腕を振るう高橋博文氏との二人三脚で、店づくりが始まった。

建長寺との一体感を出すために、まず、通りに面していた入り口を寺域内に設けた。そして建長寺が代々受け継いできた「けんちん汁」を看板メニューに据えることに。ただし、そのレシピは僧たちの口頭で伝承されてきたもの。店で提供するためには、レシピを統一するところから始める必要があった。吉田管長はじめ建長寺の数名から作り方の指導を受け、「平均となる味を探った」と高橋料理長。寺側も試食を繰り返し、納



地元のスパイス会社とコラボした鎌倉野菜カレー（写真上 ¥1,500）と、三浦の地卵を使った玉子焼サンド（¥1,200）

得のいくまで意見を出し合った。「建長寺のブランドを背負った以上、その名に泥を塗るわけにはいきません。地元のこだわり抜いた食材を使うのはもちろん、老師やお寺の方々に料理をチェックしていただくから、お客様に提供しています」

「いずれは点心庵の坐禅堂で、かねてからの希望であった坐禅会を開きたい」と、今後の夢も語る。その期待に応えるべく、カフェのスタッフは全員で京都の老舗茶屋に研修に行き、茶道も学んだ。

「和敬静寂」。寺と地元飲食企業が互いのつながりを考え、協働する姿勢にも、禅の心が込められている。



てんしんあん
和カフェ 点心庵
〒247-0062
神奈川県鎌倉市山ノ内7
TEL：0467-55-9350

食事を楽しみながら
禅に気軽に触れてほしい

「コミュニティホールとまでは言いませんが、お寺は本来、人の集まる場所です。これまで境内で坐禅会を開催してきましたが、より気軽に体験できる場所を設けることで、禅を通してもっとお寺に足を運んでいただけたらと考えています。あわせて、建長寺の思いを込めたカフェで食事をしていただくことで、禅に触れていただくきっかけができれば嬉しいです」（村田氏）

紫陽花の花を彷彿させる点心庵オリジナル 抹茶パフェ（¥1000）は生チョコもジュレもすべて手作りだ



寺域内で獲れたはちみつを使った鎌倉はちみつプリン（¥700）。盆には建長寺吉田管長が大好きな猫を、ふるった粉糖で表現している

目の前で石臼挽きした抹茶をふりかけてくれる石臼挽き抹茶ティラミス（¥700）。そのパフォーマンスも嬉しい



伝統と文化を 次世代に継承 していく方法

テーブルは写経机をリメイク。庫裏内はあまり手を加えず、そのままの歴史に触れられる空間



入店後の動線も工夫した。まず案内されるのが非公開の書院(重文)。厳かな和の空間を堪能したら、食事場所の庫裏へ



庫裏にあった「へっついさん(かまど)」は消防法に合わせてガス仕様にした。しかし外形を残して見せることで、400年の時の流れを感じてもらえるようにした



料理は河内長野産の野菜を使った季節の蒸し料理、茶粥。デザート、ドリンク付きで2,700円。大豆の唐揚げ、トマトの中華風など、食べた人に驚きを与えたいから、と多彩な創作メニューで精進料理は構成される

case 2

寺院が発案

外部パートナーへ
プロデュース依頼

【大阪府】

高野山真言宗
遺跡本山
ひのおさんかんしんじ
檜尾山観心寺

創作精進料理 KU-RI

そうさくしょうじんりょうり くり

寺の新しい形を生み出す
その手段としてのカフェ

大阪府南部・河内長野市の山間部に大宝元(701)年創建で、楠木正成にも縁のある観心寺。平安期の密教美術の傑作と評される本尊(国宝)の秘仏・如意輪観音菩薩像、大阪府下最古級の国宝建造物である金堂のほか、勅使門を備える本坊など国指定の重要文化財も多数有している。こちらでは、さまざまな時代背景のもと「お寺は心の拠り所として多くの人が集っていた場所。それをこれからの時代に合った形で創り出せないか」と考え、文化財を有効活用することで寺の文化を次世代に継承したいという思いの実現を、コンセプトメイクからトータルでブランディングを任せられるプロジェクトチーム(現・KANSHINJI PRO JECT)に依頼した。

寺の格式や品格を落とすことなく、若い人たちにお寺に対して関心を持ってもらえるよう、細部にわたって斬新な企画を検討。その一つの手段として、観心寺の子院として約400年前に立てられた槇本院の庫裏を活用した「KU-RI」を2016年10月に誕生させた。ここでいただけるのは精進料理だが、一般的な精進料理と一線を画すことは上の写真を見ての通り。住職の奥様・永島和佳さんと住職の妹で漢方養生指導士の資格を持つ松永有希子さん



住職の奥様・永島和佳さん(右)と義妹の松永有希子さん

が、自坊の行事で提供していた精進料理をアレンジし、そこに昔から節分の厄除けとして食されてきた寺伝統のあずき茶粥をプラスし、「創作精進料理」として提供している。

交通至便とはあまり言えない場所でも、週3日の営業は予約で埋まる。「寺院の歴史を直に感じられる」「見たい目でワクワクしてくる料理」というのは利用客の声。しかし現在の活況はただ時流に乗ったからではなく、訪れる人にどう感じてもらいたいか、PRは? など、プロジェクトチームが緻密に立てた戦略がもたらしたものの。加えてテレビや雑誌に取り上げられるように企画を立て、メディアもうまく活用しつつ、きちんと運営が成り立つラインに乗せたことが、

成功している最も重要な理由だろう。大切なのは、寺の存在意義の新しい形を創っていくこと。だからこそ「KU-RI」の成功は、まだ通過点ではない。

寺を舞台にその文化を感じさせてくれるカフェは、全国にたくさんある。しかし目指す形を明確にし、そのためにコンセプトの組み立てから行い、アウトプットの一つの形としてカフェを成功させた点で、観心寺のプロジェクトはそれらとは違う道を歩んでいると言える。また、形を創り出したことが、地域に人を呼ぶという地域活性の一端を担えていることも興味深い。だからこそ、この先どんな「新しい形」が生まれてくるのか、楽しみみである。

若い人のことを意識して すべてを考えました

「お寺のことを知ってほしい、寺へ来てほしい、そして若い人に寺の伝統を伝えたい。そのために実践したのは、若い人に興味を持たれる料理の構成、空間演出です。ただ、これだけの事をいきなり寺として実践するにはハードルが高いので、私の個人事業として店をスタートさせました。うまく軌道に乗せることができたため、今春より寺院の収益事業として運営しています」(永島さん)



創作精進料理 KU-RI
〒586-0053
大阪府河内長野市寺元 475
TEL : 050-3746-8600
<http://www.kanshinji.com/kuri/>

熱海 来宮神社
きのみや

茶寮 報鼓

さりようほうこ



大鳥居の外にある「来宮神社直営お休み処」。麦こがしソフトクリーム(¥350)や、神前冷酒(¥800)などが楽しめる。現在は16時半閉店だが、いずれは夜の営業も考えているそう



自然を感じてほしいという願いから、席はすべて屋外に設けられている。来福スイーツのほか、オリジナルのアロマオイルも販売中

収益は10年前の8倍に
門前町の形成を目指して

来宮神社は、和銅3(710)年の創建以来「来福・縁起の神」として信仰されてきた。しかし2005年、神社は一度経営破綻の危機に瀕している。雨宮盛克宮司は、「バブル崩壊後、熱海全体に閑散期がありました。当時は神社を守っていいこうにも先立つものがなく、やっとの思いで経営している状況でした」と、振り返る。転機が訪れたのは2010年。パワースポットブームが追い風となった。「境内の大樟がパワースポットとして注目され、若い女性が参拝するようになりました。神社の伝統を残していくために、『これをブームで終わらせてはいけない』と考え、少しずつ境内のリニューアルに着手したのです」参道整備に始まり、鳥居の外にはお休み処を設置、本殿は中が見えるようにガラス張りにした。そして2014年、参集殿竣工と共に、茶寮として「報鼓」を開店。創設にあたってまず着目したのは、当社の御祭神の好物と伝えられる「麦こがし・橙・ところ・百合根」だった。神社に縁のある食材を使い、メニューを提



朝の掃除の際に集めた落ち葉で、ハートマークを作り、写真スポットに

り、商品開発のやり取りを通して、街の方々と会話をするきっかけができたことが一番嬉しいのです」

神社と地域が互いに「なくてはならない存在」だと再認識するきっかけともなったカフェ事業。地域と共に関心化を図ったことで、参拝者数は10年前の5倍にも増えている。「いずれは、かつての門前町が熱海で復活できた嬉しい」という宮司の言葉からは、さらなる進化も予見させる。



神社で販売している「来福スイーツ」の数々。来宮神社の思い出を持ち帰ってもらえるお土産として人気

供しようと考えたのだ。同時に、来宮駅前福道町商店街の菓子店や飲食店などと「来福スイーツプロジェクト」も立ち上げた。「最初は6店舗と協同でケーキやパンなどを作りました。それが11店舗に広がり、来福スイーツは「健康パン」さんの「麦こがし饅頭のみだった

10年前から、現在は報鼓で提供しているメニューも含め50品以上が熱海市内で販売されています。カフェ事業部の収益は当時の8倍になりました」境内には、来福スイーツを提供する店を記した「来福MAP」も置いている。その効果か、「来福スイーツを始めたことで過去最高益を出した店舗もある」という。しかし、外の店舗で販売される来福ブランド商品については、ライセンス料などは未設定。「その分、本来に来福ブランドにふさわしい商品なのかという厳しいチェックはさせていただいていますし、お互いを紹介しあうことで観光客の動きも活発になりました。何よ

起死回生の一手が地域振興にも繋がった



人気の麦こがしシフォン(¥500)とだいたいサイダー(¥400)。四季を感じられるよう、メニューも季節によって変えている



カフェ事業部の稲葉直子統括マネージャー(左)と雨宮盛克宮司(右)

滞在時間の短さが
カフェの出発点でした

「境内のリニューアルを進めるなかで、参拝客の神社での滞在時間が、とても短いことに気づきました。神社としては、普段仕事などで疲れている方々にゆっくり時を感じてもらえるような空間でありたい。それで、お祭りの始まりを告げる太鼓「報鼓」の合図で人々が集まるように、神社の境内に人の集まる場を作ろうと考えたのです」(雨宮宮司)



さりようほうこ
茶寮 報鼓
〒413-0034
静岡県熱海市西山町43-1
熱海 来宮神社内
TEL: 0557-82-2241
http://www.kinomiya.or.jp/

伊太祁曾神社
いたきそじんじや

お休み処
木もれび

こもれび

社務所だった建物を
週末限定カフェに

『続日本紀』大宝2（702）年の条に初見記事が存する伊太祁曾神社。御祭神は木の神様・五十猛命、ゆえに社域は豊かな森に包まれている。以前から週末になると県外の参拝者が多かったのだが、残念なことに境内には腰を下ろす場所がなかった。また、森を感じてもらうにもお茶を飲める場所もない。そこで以前社務所として使っていた建物を、参拝者の休憩場所にするのを奥重視宮司は考えたそう。建物を本来立っていた場所に戻し、2016年「お休み処木もれび」をオープン。当初は外部



社務所になる前は休憩所だったという建物。元の場所に戻り、木漏れ日に包まれる。店頭にも席がある

写真上から順に、店内では、木製の雑貨のほか、地元の特産品も販売。紀伊国祖神（さいのくにおやがみ）として、和歌山との関係も感じさせる。建物の天井には鎌倉時代に組まれた扇垂木（おうぎたるき）が放射状に美しく配置されている。店横の道を進めば「いのちの水」の水くみ場。カウンターはヒノキにヤマザクラを継ぎ、木に包まれた店内に



に運営を委託していた。「外部の方に任せっきりになると次第に収益重視になっていくのではなか、そんな不安がありました。この場所の役割は神社の文化を伝えていくことです。やはり神社の人間が携わるべきだと」。それで現在は奥様のよしさんが週末だけ運営する形態を取っている。「もともと平日には、参拝者が多く

ありません。それに週末しか私が動けない。だから割り切って週末だけの営業にし、その分、お客様には私自身が神社のことを説明しています」と奥様。日中には店名通り、建物に木漏れ日が降り注ぐ。そして窓の外には風にそよぐ木々。気がつけば「つい長居してしまう」という声も多い、憩いの場になっていた。

「別に東屋のようなものでも良かったのですが、神社と繋がっている。ひとつが、神社と繋がっている。たのですが」と奥宮司は言うが、現在はずんざい、コーヒーなどを提供している。ずんざいに入る餅は撤下神饌の米、コーヒーに添えたお菓子も撤下神饌を材料に。コーヒーも古来「いのちの水」と言われてきた境内の湧水で淹れている。「少しでも神社に興味を持ってもらえるきっかけになれば」。ここでは何気ないものひとつが、神社と繋がっている。



神社と参拝者が縁を結び合える場所に



温かいぜんざいは焼き餅入り、冷たいぜんざいは抹茶アイスと白玉が入る（¥500）。「いのちの水」で淹れるコーヒー（¥350）の受け菓子は奥様の手作り

神社本庁、伊勢神宮崇敬会および神宮会館などを経て、平成15（2003）年に神社に戻った奥宮司ご夫婦。お二人で話し合いながら、「木もれび」を作り上げた



木もれび
〒640-0361
和歌山県和歌山市伊太祈曾 558
TEL：073-478-0006（社務所）
http://itakiso-jinja.net

社名を知らせるだけでなく
来てもらえるように

「宮司に就任してからは、神社のホームページを開設、QRコードを作るなど、伊太祁曾神社の名を出す努力はしてきたつもりです。しかし、来てもらえないと意味がありません。その時、憩える場所の必要性を感じたのです。ここでの収益を何かで使う、ということはありません。無理のない範囲で、参拝者が長居できる場所を提供したい。純粹にその思いで店を作ることにしました」（奥宮司）

文化や伝統を未来へつなぎ、寺社を活性化させている人や活動。2つの事例を紹介します。

No. 1

外からの刺激が
寺と檀家の関係に
化学反応を起こし、
地域を変える



月仲山称名寺は最寄りバス停から徒歩15分。それでも町外から多くの人々が来た

寺と地域の在り方を考える。そのためにも挑戦を

寺で寺主映画の上映、しかも出演者は寺の関係者と檀家さん。昨年10月1日、京都府久御山町の称名寺で、お寺ミュージカル映画祭「テ・ラ・ランド」というイベントが開催された。同日は法然上人の御忌法要日。厳かな儀式と笑い溢れる上映会が同じ場所で開催されたのだ。企画したのは副住職の稲田瑞規さん。寺と檀家と町、変わらない日常……。それでいいのか！と疑問に思い、「寺に外の人を呼び、檀家さんとふれあうことで地域が変わるかもしれない」と、イベントの開催を決意した。父である住職を説得し、住職と共に全檀家を訪問。若い監督と共に制作した映画には、監督のアイデアで7割近い檀家さんが出演。その結果当日は、法要時でさえ寺に来てくれなかった檀家さんも大勢寺へ来てくれた。さらに驚いたのは、町外からの参加者の多さ。若い人に響くような文章やビジュアルを考えてウェブメディアに載せた告知が転載され、5000回以上のSNS拡散という予想外の反響を招き、最終的に町内外から100人以上が来場。

「寺の仏教の姿に別の要素を重ねれば、新しい価値観が創れることを実感しました」。地域の人と何かを作る楽しさ。熱意を持って意見を述べ、老いも若きも協力しながら進む先に、新たな可能性が見えてきた。

No. 2

神社の個性が
生きる絵馬を
文化として
広めていきたい



伊勢神宮の内宮・参集殿にて授与される、今年の干支「戌」の開運絵馬

神道文化賞の受賞で
気づかされた使命

永崎ひまるさんが「絵馬師」として神道文化賞を受賞したのは、今から2年前。それまで神社界の伝統文化の伝承に貢献した人に贈られる同賞の受賞者の多くは、神職だった。「私が神道文化賞をいただくまでは絵馬師という専門職があること自体、神社関係者でも知らない方が多かったと思います。絵馬師は、自分の名前を表に出してはいけないと思っている方も少なくないですから」その受賞を後押ししたのは、絵馬を奉納した山梨・浅間神社の宮司だった。推薦を受けたことで、絵馬師という職業を次世代につないでい

かねばという思いが芽生えたそう。同時に、神社からの反応にも変化が。「静岡の小國神社に絵馬を奉納した際、担当の神職様から『署名が小さすぎるので大きく』とご指摘をいただきました。私が描いたことを押し出したいと言ってくれたんです」それは、絵馬にも「ブランド力」が求められるようになった現れだった。「神社によって絵馬に描きたいものが、描いてはいけないものが違います。私は、そうした神社の個性を汲んだ上で、参拝者が『持ち帰りたい』と思える、特別な絵馬を描きたい」と考える、特別な絵馬を描きたい。絵馬を通じて神社に人を呼ぶきっかけを創れたら嬉しいですね」

今後、新たな木曾ヒノキの大絵馬が東京大神宮にも奉納される予定です。

「絵馬」を次世代へ伝える、絵馬師・永崎ひまるさん



永崎さんは埼玉県のユネスコ無形文化遺産細川紙・小川町ふるさと大使も務めており、鹿児島・霧島神社の特別大祭記念絵馬には、その和紙を使用



世界文化遺産登録記念として、地域の人たちが資金を出し合って奉納した福岡・宗像大社の大絵馬と永崎さん。樹齢300年以上の天然木曾ヒノキに手描した



山梨・甲斐國一宮浅間神社に納められた絵馬は、ポップなタッチが印象的。こちらはコンピューターグラフィックで描かれている

地域の寺の将来を変えるべく活動する、稲田瑞規さん



檀家さんや久御山町が初めてという参加者にイベントの趣旨を説明する副住職の稲田さん。檀家の皆さんも温かく見守ってくれた



当日は檀家の女性たちによる合唱も行われ、寺と檀家さんが一つになった。100人以上が寺に集まった様子を見て住職が涙したそう



「テ・ラ・ランド」というネーミングは映画監督の発案。単なる地域の寺のイベントではなく、耳に残る名前、目を引くビジュアルを作ったのも多くの人を集められた大きな理由

【永崎ひまる】
ブログ「ひまるの素敵な毎日。」 <https://ameblo.jp/himaruyu/>

【浄土宗知恩院派 月仲山称名寺】
〒613-0023 京都府久世郡久御山町野村3 TEL: 075-631-2247

OTAKARA

独特な生命力が漂う、神秘的な立ち姿

聖観世音菩薩像

【しょうかんぜおんぼさつぞう】



活人形作家・松本喜三郎の最晩年の代表傑作

JR熊本駅から近い、万日山の中腹に佇む来迎院。大宝元(701)年に行基菩薩が開山した法相宗の寺院で、歡喜2(1230)年に浄土宗に改宗。もとは36坊の大寺院だったが、さまざまな歴史を経て現在の姿となった。来迎院には日本各地から参拝者が訪れているのだが、目的の多くが聖観世音菩薩像。来迎院



作者の松本喜三郎は日本で初めて義足をつくった人物でもある(実用化はされなかった)。表情はもちろん、背面の曲線など活人形の精巧さは、人体を熟知した作者ならではの賜物だ

聖観世音菩薩像は1887年の作で、熊本市指定の有形文化財。本尊の傍らのガラスケースに保管しており、寺の開門時間中は自由に拝観できる



情報を発信することで地域活性にもつながる

時は南北朝時代。楠木正成は湊川の戦いに破れ、自刃する。その直前自身が守護神として崇め身に付けていた八幡大神の神霊を家臣に託し、家臣は淡路島へ逃れたという。その八幡大神を祀るのが淡路島北部の松帆神社だ。神社には楠公にまつわる話として「八幡宮に名刀あり」との噂もあったのだが、その所在は長らく不明。ところが昭和初期、本殿奥の内陣から、二振りの刀が見つかった。さっそく鑑刀家・本阿弥光遜氏が鑑定にあたり、当時の文部省国宝保存課刀剣主査・本間順治博士からも「間違いないく菊一文字」との評



社務所入り口に展示されている模造刀。手にとって記念撮影などもOK

の聖観世音菩薩は、通常の仏像とは一線を画す。華やかな色彩をまとい、立ち姿はまるで女形の役者のように。本尊の傍らにありながら、なんとも圧倒的な存在感を放っている。作者は、江戸末期から明治時代に活躍した活人形師であり、仏師でもあった松本喜三郎。江戸(東京)や京阪の桧舞台において高い名声を誇った彼の、晩年の傑作がこの聖観世音菩薩像だった。彼には故郷である熊本市の万日山に観音霊場を開きたいという夢があった。

そんな観音信仰の想いで創った聖観世音菩薩像は人のような生命力をたたえ、仏界と人間界の境にスッと立つような神秘的な魅力。信仰心のみならず、その高い芸術性に惹かれて訪れる参拝者も多いという。同寺ではSNSでの情報発信も行っており、その影響からか、若い世代の関心も高まっている。

価値を得、昭和10年に国の重要美術品(当時)に認定された。年に一度、秋の例祭時に公開されてきた菊一文字だったが、当社の権禰宜・田村俊介氏は、「名刀の情報を知らせることで、神社にも地域にも、人が集うかも知れない」と考え、ホームページを立ち上げ、SNSを活用し、神社と菊一文字の存在を発信。また、参拝者が誰でも気軽に触れられるように、本物に近い質感と重量の鉄製模造刀を入手し、社務所入り口に置いた。

伝承通りに発見されたこの菊一文字は、後鳥羽上皇が鍛刀されたものを後醍醐天皇から楠公へ下賜されたものと考えられおり、田村権禰宜の地道な活動によって、地区以外にも知られ始めた。出自のロマンとその希少性が口コミでも広がり、神社に人を呼び、地域の活性化に一役買っている。



参拝者に地域を知ってもらうため、見所を記載した自作地図なども配布

ご朱印には聖観世音菩薩の姿の印が。姿をなぞり描きする写仏も人気が高い



浄土宗
大寶山 来迎院
〒860-0004
熊本県熊本市西区
春日 6-8-8
TEL : 096-355-5917

名刀菊一文字

【めいとうきくいちもんじ】

OTAKARA

昭和初期に発見された、楠公ゆかりの名刀



秋の例祭では菊一文字の刀身と共に拵(こしらえ)もガラスケースに入れ、展示する



まつほ
松帆神社
〒656-2311
兵庫県淡路市
久留麻 256
TEL : 0799-74-2258

新

NEW WIND

風

寺社の世界にあらたな風を吹き込む多様な活動の中から今回は、大切な本尊を守る新技術やデジタルとの融合で神社に人を呼ぶ取り組み、そして地域活性化にも繋がる企画を紹介します。



紀の川市円福寺の愛染明王像。左が複製で右が実物。仏像の複製は専門業者に依頼すると数百万円かかるが、和歌山県立博物館と工業高校の実習・業務として対応している現状なら、材料費の数万～数10万円で製作が可能。レプリカ製作は県立和歌山工業高校内で行われる

NEWS 1 最新テクノロジーが可能にした新対策 仏像を盗難から守る！ 3Dプリンターが大活躍

近年、寺社に安置されている仏像など文化財の盗難被害が増えているが、そんな中、和歌山県立博物館と県立和歌山工業高校の生徒とのプロジェクトが、盗難対策の新たな可能性として注目されている。

そもそもは視覚障害者が仏像などを体感できるように、国立和歌山大学の学生も加え、平成22年に3Dプリンターを使って複製を作製し、博物館内に展示したのだが、平成24年からは寺社の要望に応える形で盗難対策としての「お身代わり仏像」製作を開始、昨年までに25点を納めた。昨年には文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」にも「地域とともに文化遺産の継承を担う新たな博物館づくり事業」として

採択されている。

担当する和歌山県立博物館主査 学芸員の大河内智之さんによると、「お身代わり仏像」は単なるレプリカ製作ではなく、完成までに地域住民とのコミュニケーションを行うなどで、地域住民の方々に新たな信仰対象として受け入れてもらえるよう決めています。これが地域の課題解決の二つのモデルになればとのこと。寺社からの複製製作を求める声は、年々増加している。



紀の川市の薬師寺でもレプリカを製作。安置のための法要には、県立和歌山工業高校の生徒も参列した

レプリカを安置し、その間に防犯・防災対策を
「お身代わり仏像」による防犯対策は、過疎・高齢化が進む集落の寺社などでの文化財管理の一つの手法です。レプリカを安置している間に新たな防犯・防災対策を整え、また仏様にお戻りいただくことが望ましいと考えます。地域での信仰環境を維持しながら大切な文化財を守り伝える取り組みとして本事業の理念や手法、課題を広く共有し、同様の問題を抱える地域へのエールになればと思います。



【問い合わせ】和歌山県立博物館 TEL：073-436-8670（主査学芸員 大河内智之宛）

7月7日より、東京都台東区の小野照崎神社で「お守り2・0」と題する新プロジェクトが始まった。第1弾として「#多動力守」と「#圧倒的

努力守」の2種類が展開される。「当社の御祭神である小野篁命は平安初期のマルチアーティストであり、昼は政治家、夜は冥界で仕えたという数々の伝承が残る稀有な神様です。まさに、実業家・堀江貴文氏が提唱するさまざまなことを同時にこなす力、「多動力」の持ち主でした。また、当社には「強烈な努力」と書かれた、囲碁棋士の故・藤沢秀行氏の顕彰碑があります。こちらは稀代の編集者である見城徹氏が提唱する『圧倒的 effort』に通じるもの。小野篁命は仕事の神としての信仰も厚い神様ですし、堀江氏、見城氏は共に多くの男性から注目されています。そうした経緯から、お2人の言葉を入れ、現代のビジネスパーソンに向け



誓願紙に願いや夢を記し、SNSでハッシュタグ（#）付きで宣誓。その後宣誓紙をお守り袋に入れて神前に参拝し、身に付けるというもの。まさにアナログとデジタルが合体したお守りだ

た「新しい仕事守」の制作を試みましたが「と権柄宜の小野亮貴氏。テクノロジーの発達により凄まじい速度で変化する時代、変わらぬ伝統や信仰の本質を守るには、時代や世代に合わせた適切な「伝え方」を模索し、研ぎ澄ませていく必要があるという。『お守り2・0』プロジェクトを通じて、多くの人に神社へ足を運んでいただきたいと考えています」

当社は今後も「伝統×時代」をテーマに、多様なコラボを展開予定だ。

NEWS 2 デジタルとアナログの融合！ ハッシュタグをつけて 発信する「お守り2・0」

おのてるさきじんじや 小野照崎神社 〒110-0004 東京都台東区下谷2-13-14 TEL：03-3872-5514

NEWS 3 サイクリングで神社を回る 御朱印巡りMAPで 地域の魅力も発信

滋賀県にある琵琶湖では、湖周サイクリングを楽しむ「ビワイチ」が大ブームで、滋賀県や琵琶湖周辺の自治体も、これを期にさまざまな観光施策を打ち出している。

そんな中、湖南の野洲市にある兵主大社で「兵いち」御朱印巡りMAPが製作され、6月18日より配布を始めた。野洲市周辺にある32社を自転車でも訪れてもらうもので、鎮座1300年を迎える今年の記念事業の一つとして、宮司の井口昌宏さんが発案。コースの下見から始まり、各神社近くの飲食店や観光施設にも協力を仰ぎ、利用割引なども付けた。参加者は兵主大社で御朱印帳を購入し、スタート。すべて回ると当社の

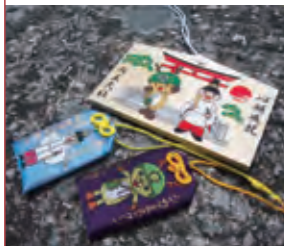


神社の中には神職が常駐していないところもあるため、証明書を置き、参拝者は証明書を兵主大社に持って行くことで、御朱印をもらう

記念品がもらえる。

「神社を知るだけでなく地域も知ってもらいたい」と企画しました。地域における神社の役割として、社会性のある企画だと考えています」と井口宮司。

同じ神社巡りでも、手段が車と自転車では見える景色がまるで違う。自転車での神社巡りが、これまでとは異なる、地域の新たな魅力発見のきっかけになるかもしれない。



コースは2コースあり、どちらかを完走するとオリジナルキャラクターのお守りがもらえる。2コース完走すると絵馬も進呈



現在食事を提供している部屋を客間に改装し、建物は現在の山側から少し離して安全性も確保するなど、寺本住職の構想はすでに具体的な図面となり、建築確認も終えている



現在提供している食事はカレーと、精進料理「あじさい御膳」。どちらも熱心なファンがあり、北僧坊の大きな魅力



北僧坊から奈良市内を望む。ここに2階建ての宿坊を整備すれば、2階からは若草山の山焼きも見えるようになるという



本堂横にある書院は、郡山城主だった豊臣秀長が隠棲した場所でもある。「この価値も多くのの人に知ってもらいたい」と語る寺本住職



境内には60種1万本の紫陽花がそこかしこに咲いており、たくさんの地藏尊と紫陽花の競演が訪れる人々の目を楽しませている。紫陽花に包まれる回遊庭園も人気



テラハク
レポート

宿泊で寺社と地域を元気にする
WEBサービス「テラハク」
7月18日から宿泊予約開始！

「お寺が楽しい」という 人を増やすための宿坊に

宿坊を再開することで
つながりを取り戻したい

関西で「花の寺」と聞けば多くの人が名前を挙げる奈良市南西部、矢田丘陵にある矢田寺（金剛山寺）。昭和40年頃から植えられ始めたという紫陽花が境内には咲き誇り、シーズン中は平日でも多くの人が訪れる。

日本最古の延命地藏菩薩を本尊に祀る本堂の脇に建つ北僧坊は平成5年まで、そんな参拝客をもてなす宿坊を備えていた。しかし同年の火災ですべてを焼失。以後宿坊を再開させることを悲願としてきたという。

そう考え始めた時に、テラハクのスタートを知り、参加を決意。「宿坊を再開することで、お寺が楽しい」という人を増やしたいのです。参拝を楽しみに石段を登ってくる人が増え、宿坊に集うようになれば、そこから新たな人の繋がりが生まれます。お寺とはそのための場所であるべきなのです。そのためには正しく、的確な情報発信が必要だと寺本住職は考えるが、日々の業務を考えると、自分たちだけではできそうにない。そこで、テラハクの集客体制

「テラハク」のサポート体制

集客体制について

世界最大のオンライン宿泊予約サイト「Bookingドットコム」や民泊仲介サイト「Airbnb」（エアビーアンドビー）などと提携し、国内外から宿泊者と呼べる体制を構築。「テラハク」に登録すれば大手宿泊仲介サイトへの登録や管理も代行

宿泊客への対応をフルサポート

予約対応はもちろん宿泊に関する問い合わせへの対応、宿泊当日のチェックイン対応、カギ渡しまでをトータルにサポートする

宿泊滞在中の不安を解決

宿泊保険は東京海上日動火災保険株式会社が担当するほか、問い合わせへの対応、苦情発生時の駆けつけ対応、大手セキュリティサービス会社による警備、電気・ガスのサポートもある

民泊スタート前の手続きなど

弁護士・行政書士によるサポートチームが申請手続きの相談に乗る。大手住宅メーカーによるリフォームや水回りの修繕、住宅設備機器業界最大手企業が照明器具などをチェック

「かつては多くの方と寺、そして参拝客同士が宿坊を舞台にすばらしい縁で繋がっていました。それがなくなると20年以上。しかし寺の将来、人の輪の未来を考えるときに、何としても宿坊を再開させて、寺と人、人と人との繋がりを取り戻さなければと考えたのです」と寺本住職は言う。先代の跡を継いで住職となった8年前から構想を練り、図面を作成するなど、漠然と2020年を目標に着々と準備を進めてきた。そして奇しくも目指す年に東京オリンピックの開催が決まった。「もう待たなした」。

「北僧坊は現在、開門中に食事を提供し、評判を呼んでいる。「宿坊で食事を提供するようになれば、宿泊者に精進料理を知ってもらえるだけでなく、調理するスタッフを育てることも必要になり、それが食の文化伝承にもなるはず」。

季節の紫陽花だけでない魅力を発信したい、丘陵地という立地を生かした眺望も知ってほしい、くつろげる入浴施設も整備したい…。寺本住職の夢は、どんどん膨らんでいく。



寺社登録(問い合わせ)受付中

TEL:06-6356-2090 株式会社 和空

テラハク <http://terahaku.jp/>



高野山真言宗矢田寺
準別格本山北僧坊

〒639-1058
奈良県大和郡山市
矢田町 3516
TEL: 0743-53-1531

風まかせ

天

空の城ラピュタはスタジオジブリ作品のなかでも大好きなアニメのひとつである。かつて高度な文明を謳歌した天空に浮遊する島、想像しただけで心ときめく物語だが、『ガリバー旅行記』の「ラピュタ：そして日本渡航記」に出てくる飛行島ラピュタに元ネタがあることはよく知られた話である。

ガリバーも驚く 吉野山の力

このラピュタよりスケールの大きな處が日本にあるといっても本気にしないかもしれないが、桜で有名な

修験の霊山・吉野山へ。
ガリバーが訪れたラピュタを凌ぐ力をもつ山へ、
歴史上の人物たちが
逃避した理由へ思いを馳せる。

な吉野山から山上ヶ岳までの連峰、金峯山がそれである。唐土にあった山がその昔、海に浮かび出て吉野の地へと飛翔してきた、泳いで飛んで、というのだから只者ではない。この突飛な話も平安時代には巷間の普く知るところとなり、藤原定家の『もろこしの吉野の山の夢にだに』がしめすように山の飛来は周知のこととなり、『唐土』を吉野の枕詞と

した和歌が散見されてくる。しかも役行者小角という異形の者が金峯山から熊野への修験道を開き、今尚、多くの求道者が大峯奥駈修行に励み、西の覗きといった身の毛もよだつ鍛錬を重ねるなどお伽斬かアニメでしか拝見できぬメルヘンのラピュタとは大違いなのである。

お伽斬のガリバーはラピュタから旅を続け日本にわたり英国へと帰国するが、飛行島には立ち寄ってもこの霊山に登ることはなかった。江戸でガリバーを引見した徳川将軍が『泳いで飛んで』とひと言触れておれば、物見高い彼は必ずや吉野山を訪れ、在所の神様をこき使い金峯山と葛城山に石橋を渡した役小角なるペラボウな怪物についても自慢気に吹聴したはずである。



であれば、当世、訪日旅行者誘致などと声高に叫ばずとも世界中から引きも切らぬ旅人が吉野山へ押し寄せていたに違いなく、その一言が將軍の口から発せられなかつ



たことが悔やまれてならない。そういうえば酷使された神様の名は葛城の一言主神であった。

ガリバーは空想上の人間である。が、役行者は『続日本紀』に呪術で人を惑わすと讒言され伊豆島へ流されたと記された実在の人物である。しかも「鬼神を思うままに使役し、命に従わない」と呪術で呪縛した」とその呪力は天下に鳴り響いていた。葛城山麓の生誕地にある吉祥草寺の境内には今に至るも小角が使用した産湯の井戸や腰掛石が実在するなどその霊験や畏るべしなのである。

て修験道の入路となる吉野だが、その名は役小角よりはるか昔、神武東征

の行路として日本書紀に初出する。そして応神天皇から聖武天皇の御代まで四五〇年もの長きにわたり吉野離宮への行幸の記述が度々、国史に登場する。歴史上、平安京を除きこれほどの間、一つの行宮に通われ



1. 花矢倉から見下ろす吉野山の尾根筋と北端に金峯山寺蔵王堂の威容 2. 役行者の生誕地に建つ吉祥草寺の山門と本堂 3. 大海人皇子が桜の樹の陰に身を潜めたとの伝承を残す桜木神社



た例はない。なぜ、吉野は幾世紀にもわたり権力者たちにとって特別の地となりえたのか。

また、その疑問の一方で、中央の政争から逃れてきた者の潜伏地として吉野はしばしば登場する。乙巳の変後の皇位争いを避けて吉野宮へ籠った古人大兄皇子。天智天皇の後継争いのなか出家して吉野宮へ遷り、結局、拳兵に至った大海人皇子。兄頼朝の追っ手を逃れ静御前とともに落ち延びてきた源義経と郎党。さらに建武の中興の失政ののち吉野朝を興した後醍醐天皇といった歴史上の人物たちが吉野を逃避先とした理由は何か。

そ

うした史実に縁の神社や寺院が吉野山には数多く残る。吉野宮があった宮滝遺跡やその近くの、大海人皇子が境内の桜の大樹に身を隠し難を逃れたという桜木神社。山の中腹に建つ如意輪寺には南朝方の小楠公が辞世の句を刻んだ門扉が実存し、後醍醐天皇御霊殿を祀る。山上北端

には役行者が創立した金峯山寺蔵王堂が威容を誇り、桜の木で彫った三体の蔵王権現が祀られている。その尾根筋をゆくと義経主従が匿われた吉水神社や南朝の仮御所となった書院、天武・持統天皇の勅願所の桜本坊などが建つ。さらに進むと義経千本桜で名高い佐藤忠信が追っ手の僧兵を射落とした花矢倉の急坂にぶつかる。そして南端の奥まった辺りに地主神を祀る金峯神社が鎮まっている。そこから北方には大和平野と吉野をへだてる神仙思想の聖地・龍門山塊が望まれ、山裾を日本最大の断層帯である中央構造線が走っている。その裂け目からは地下水と一緒にラドンが噴出し、強い磁気が放射されている。そして、地殻が大変動を来たとき膨大なエネルギーと磁気が一挙に放出される。科学的知見に乏しい古代、放射線による治療効果や地中から天空へ昇る閃光や磁場の揺らぎによる超常現象は神の仕業と見えたはずである。そうした地質特性をもつ吉野山は



再興の機をうかがう。都に近い吉野はそうした人々にとつてまさに格好の土地であった。

列島を東西に横切る中央構造線の真上には阿蘇神社、石鎚神社、伊勢神宮、諏訪大社、香取神宮、鹿島神宮といった名だたる古社が鎮座する。古代の人々は理解不能な自然現象を神の意志と畏れ、敬い、崇めたのであろう。ガリバーは巨大な磁力で浮遊するラピュタ島に君臨する数学者たちの愚かさを皮肉ったが、現代人もそろそろ科学の限界を識り、人間は自然の意志の下で命を紡ぐしかない矮小な存在なのだと、吉野山の凜とした涼気のなかで気づかされたのである。

4. 吉野山中腹に建つ如意輪寺の後醍醐天皇御霊殿 5. 本尊の蔵王権現三体を安置する金峯山寺蔵王堂 6. 金峯山の南端に鎮座する延喜式内社の金峯神社



飛鳥寺にて

野田博明
のだひろあき

昭和26年生まれ。東大卒。日本興業銀行広報部長などを経て、現在、一般社団法人全日本社寺観光連盟理事。平成27年文化庁・観光庁共管の「文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議」、平成29年文化庁の「文化財の多言語解説等による国際発信力強化の方策に関する有識者会議」の委員。



感動のそばに、いつも。



人をつなぐ、笑顔をつなぐ。
JTBは地球を舞台に、
あらゆる交流を創造し続けます。

寺社Now

Vol.20

寺社の皆様の貴重なご意見をお聞かせください！

誌面アンケート

「寺社Now」ではより良い誌面をつくるためにアンケートを実施しております。下記アンケートの□内には✓を、()内にはご記入をいただき、末尾に記載しているFAX番号まで本紙をお送りください。

Q1 所属

寺院 神社

Q2 今号で面白かった記事はどれですか(複数回答可) ※丸数字に○を記入

- ①巻頭インタビュー:祭りとは、地域の人々が「共に生きている」ことを確認するための装置。盛岡八幡宮宮司、岩手県神社庁庁長 藤原隆廣
②【特集】寺社と人をつなぐ、カフェという選択:臨済宗建長寺派大本山 巨福山建長寺「和カフェ 点心庵」/高野山遺跡本山 檜尾山観心寺「創作精進料理 KU-RI」/熱海 來宮神社「茶寮 報鼓」/伊太祁曾神社「お休み処 木もれび」 ③伝統を未来へ～ From the Past to the Future～:地域の寺の将来を変えるべく活動する、稲田瑞規さん(月仲山称名寺) /「絵馬」を次世代へ伝える、絵馬師・永崎ひまるさん
④うちのお宝:浄土宗 大寶山来迎院(熊本県)・聖観世音菩薩像/松帆神社(兵庫県)・名刀 菊一文字 ⑤新風:仏像を盗難から守る! 3D プリンターが大活躍/お守り 2.0 /サイクリングで神社巡り ⑥テラハクレポート「高野山真言宗矢田寺 準別格本山北僧坊」
⑦【特別寄稿】野田博明「風まかせ」第20回 ⑧社寺観光研究会が6月から本格スタート

Q3 以下の項目で、寺社の取り組みの事例として知りたいものはどれですか(複数回答可)

観光 外国人対応 宿坊新規開設・運営 寺社イベント 広報 地域振興 結婚式 後継者育成
 土地活用 その他

ご記入ください:

Q4 今号の記事、広告を見て実際に問い合わせた、もしくは興味を持った内容があれば教えてください。

観光 外国人対応 宿坊新規開設・運営 寺社イベント 広報 地域振興 結婚式 後継者育成
 土地活用 その他

広告を見て問い合わせた、
あるいは興味を持ったところの会社・団体名:

Q5 以下の項目で、知りたい企業サービスはどれですか(複数回答可) ※丸数字に○を記入

- ①ホームページ ②SNS運用代行 ③アプリ開発 ④告知ツール制作(掲示物・ダイレクトメール・冊子・チラシなど)
⑤フリーWiFi ⑥自販機設置 ⑦喫煙所設置 ⑧清掃 ⑨老朽化・耐震対策 ⑩警備 ⑪保険 ⑫介護施設 ⑬託児所
⑭土地活用 ⑮資産運用 ⑯税金対策 ⑰その他

ご記入ください:

Q6 寺社Nowへのご要望・ご感想など

ご記入ください:

寺社Nowのバックナンバーおよび、寺社Nowの無料送付の継続をご希望の場合は、下記の内容をご記入のうえ(□内に✓をお願いします)、FAXにてお送りください。

バックナンバー希望 ご希望のバックナンバーの号数に○をご記入ください ※複数可 無料送付の継続希望
(Vol. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19)

寺社名	氏名
ご住所	〒
お電話番号	

FAX 06-6360-9848

【個人情報の取り扱いについて】
ご記入いただいた個人情報は寺社Nowや同誌バックナンバーの発送および全国寺社観光協会からのご連絡以外には使用しません。



挑戦の 数だけ、 保険が ある。

保険は、冒険から生まれた。
大航海という挑戦を助けるために、
勇気をつくるために、
保険は生まれた。

さあ、挑戦しよう。
人は何かを始めることで前へ進み、
世界は新しく変わってゆく。
不安も、きっとあるだろう。
でもそれは、分かち合うことで軽くなる。

世の中には2種類の人がいる。
挑戦する人、しない人。
充実した人生を送るのは、
どちらの人だろう。
人から愛され尊敬されるのは、
どちらの人だろう。
世の中を変えていくのは、
どちらの人だろう。

私たちはすべての挑戦を応援します。

To Be a Good Company
東京海上日動



JOCゴールドパートナー(損害保険)